

# みんなで東海道線の電車の窓から見える壁画を描こう!

開催!!

## ストリートアーティストAIKOの壁画ワークショップ

NYをベースに世界中で活躍するストリートアーティスト、  
AIKOと蒲原の子どもたちによる壁画ワークショップを開催します。  
子どもたちの壁画は蒲原の地元企業様のご協力により、長期的に保存される予定です。



- 主催: 静岡市東海道広重美術館
- タイトル: 「東海道コミュニティウォール・プロジェクト・蒲原」  
(静岡市東海道広重美術館企画展関連事業「LADY GO! AIKO ×江戸ガールズコレクション」)
- 開催日: 2018年4月4日(水) 10:00 -15:00(予定)  
4月5日(木) (※予備日\_\_雨天の場合)
- 講師: AIKO
- 対象: 蒲原在住の小学生(※新中学1年生含む)
- 場所: bloom by 3rdplace/ブルーム バイ サードプレイス敷地内、JR沿線の壁面  
(静岡市清水区蒲原新田1丁目1523)
- 協力・協賛: bloom by 3rdplace、駿河重機建設株式会社、株式会社さくら不動産

### お問い合わせ

静岡市東海道広重美術館

〒421-3103 静岡市清水区由比297-1 TEL:054-375-4454(代) info@tokaido-hiroshige.jp 担当:大森



**CIGGの青年たちと共同で制作したアイコ・コミュニティー・ウォール  
(photos by Martha Cooper)**

ブルックリンのコニーアイランドでパブリック・アート・プロジェクト「コニー・アート・ウォールズ」が開催中。ストリート・アーティスト30人が手掛けた壁画が公開中だ。同展のキュレーションは、ロサンゼルス現代美術館(MOCA)で2010年から2013年までディレクターを務めたジェフリー・ダイチ氏。アートディーラーでもあり、美術館やコレクターのアドバイザーとしても活動。2009年、マイアミのウィンウッドで同様の壁画プロジェクト「ウィンウッド・ウォールズ」を手掛けた。

ブルックリンを拠点に活動する日本人アーティストのAIKOは、「ウィンウッド・ウォールズ」に続き、今回も参加。「がしやどくろと人魚の物語」と題した作品で、歌川国芳の木版画「相馬の古内裏」に描かれた「がしやどくろ」が、葛飾北斎「神奈川沖浪裏」の「波」を乗り越え、時空を超えて、現代のコニーアイランドの人魚に逢いに来た、という設定。江戸時代の「大衆文化」と、アメリカの「ストリート・カルチャー」へのオマージュだ。

加えてAIKOは「アイコ・コミュニティー・ウォール」を制作。同地区に住む恵まれない子どもたちの支援団体「コニーアイランド・ジェネレーション・ギャップ(CIGG)」の青少年たちと一緒に仕上げた1枚だ。絵には「Not a Gun」や「Stop The Violence」など、暴力と隣合わせで生活する子どもたちのリアルな想いが描かれている。「私にとって、そんな子どもたちとの共同制作は、とても意義のあることでした。彼らのメッセージを一人でも多くの人に知ってもらいたい」とAIKO。



■講師プロフィール

AIKO

東京生まれ、90年代後半にNYへ渡る。アメリカンポップアートの影響を受け、ストリートアートとグラフィティの分野で活動。パリ、ロンドンをはじめ、ドバイ、ニューデリー、ヨハネスブルクなど、世界中のさまざまな都市で作品を発表。近年は現代アーティストとして海外の様々なアートシーンでも活躍中。ポップで力強く、和と洋の混在した女性らしい作品は世界中のファンに愛されている。

<http://www.ladyaiko.com/>

■概要

展覧会「LADY GO! AIKO x江戸ガールズコレクション」

主催：静岡市東海道広重美術館

会期：2018年4月3日(火) - 2018年6月3日(日)

世界を舞台に活躍するストリートアーティストAIKOと広重美術館の初のコラボレーションが実現!

本展では世界中を旅する現代の絵師AIKOの世界と、広重、三代豊国、国芳をはじめとする歌川派の絵師による女性にフューチャーした浮世絵を一堂に展示致します。日本初公開となるAIKOの巨大壁画や、浮世絵版画の技法で制作された「垂米利加ノ夢」、東海道や歌舞伎に登場する浮世絵の中の江戸ガールズファッションなど、私たちも身近に感じる作品が見どころです。

江戸から現代まで、時代を超えて愛される「ガールズ」たちの世界をお楽しみください。

■関連企画 アーティストトーク

□講師：AIKO

□日時：5月3日(木・祝) 13:00 - 14:00

□参加費：無料 ※入館料別途

(申し込み不要・定員制限無)

『東海道コミュニティ・ウォール・プロジェクト』とは

～広重の「東海道五十三次」の宿場を起点に、現代へと繋ぐストリートアーティストと辿る東海道の旅～

『東海道コミュニティ・ウォール・プロジェクト』は、アーティストと地域のすべての人たち(さまざまな生きづらさや孤立を抱えている人たち含む)に、アートを通じた体験の機会を提供するプロジェクトです。かつては東西の交通の要であった東海道の各宿場を地域資源として、人々がアートを介して交流することにより、アートと社会の双方を結び「ともに生きるかたち」持続可能な社会を目指します。将来的には同プログラムを展開しながら東海道の二峠六宿をつなぐことにより、人々の歴史・文化への関心を高めたり、ひいては町の賑わいや地域アイデンティティの確立を目指したいと思います。